

健康福祉科学専修 臨床検査関連業務(検査技術領域) 履修モデル

【期待される能力・修了後の主な進路】

検査技術の実践能力を基盤に最新の臨床検査の知識と技術を身につけ、さらに他職種との連携を視野に入れながら、高度な実践を展開することができる。保健・医療分野の施設や臨床検査関連施設の管理運営においてリーダーシップを担うことができる。

修了後は、保健・医療分野の施設や臨床検査関連施設の管理運営においてリーダーシップを発揮できる指導者や管理者に従事する。また臨床検査関連の教育・研究活動に従事する。

2年次

【専門科目】

健康支援カウンセリング論(2)

【特別研究】

健康福祉科学特別研究(10)

1年次

【共通必修科目】

IPW論(専門職連携実践論)(2)

【共通選択科目】

保健医療福祉概論(2)

保健医療福祉学研究法特論(2)

地域ケア支援論(2)

障害予防学特論(2)

【専門科目】

生体情報評価学(2)

病因病態検査学(2)

健康福祉評価法(2)

健康福祉科学演習

(生体情報評価学または
病因病態検査学)(2)

【学士課程において身につけておくことが望まれる能力】

保健医療の科学的判断の根拠となる臨床検査学についての基礎知識および技術を持ち、科学的な思考力・判断力・理解力、多様な人々と協働して問題解決にあたる意欲をもつことが望まれる。